

2012年 秋
No.124

世界はひとつ

●巻頭特集

ニューカレドニアへの日本人移民と岐阜日仏協会の活動



日本人移民を乗せてティオに到着したポーハタン号(1905年)
写真所載:レイモン・マニエ氏



写真中央はマリー＝ジョゼ・ミシェル
日本名誉領事、右端は飯塚会長



現地で開催された
故名和喜一郎氏の子孫の方々

オーストラリアの東方の島、ニューカレドニアは、フランス領であり、ニッケルの産地、また、リゾート地として知られています。ここには、現在、推定で約8千人の日系人が暮らしています。彼らの祖先は1892年以降、移民会社の斡旋で、ニッケル鉱山の鉱夫として出稼ぎに行った日本人で、約6千人にのぼりました。そのほとんどは単身男性で、5年間の契約を終えてからも島に残り、現地の女性と所帯を持ち定住した人も多くいました。

しかし、1941年に太平洋戦争が勃発すると、日本人は「敵性外国人」として逮捕され、オーストラリアの強制収容所に送られ、抑留を経て、1946年に日本に強制送還されました。同時に日本人所有の財産はフランス政府に没収され、抑留の対象外とされた現地妻と混血の子供たちは、一家の大黒柱を失った貧困、差別、悲しみの中、厳しい生活を強いられ、その多くがそのまま夫や父親と生き別れることになりました。

ニューカレドニアに移住した日本人の歴史は、最近までほとんど知られていませんでしたが、成安造形大学准教授の津田睦美氏らが調査し、その事実を紹介されています。詳しくは津田氏のHPをご覧ください。
(<http://www.mutsumitsuda.com/>)

今年はニューカレドニア日本人移民120周年にあたり、現地において、記念事業が開催され、2009年からニューカレドニアとの交流を行っている岐阜日仏協会(代表:飯塚保江会長)は、主催者からの要請に応え、メンバー14名が現地を訪問し、120周年記念祭に参加しました。

現地において、岐阜県の紹介、郡上踊り、浴衣の着付け、折り紙などの文化交流、岐阜県知事・岐阜市長のメッセージの橋渡し、日本人300名が埋葬されているティオ市営墓地での慰霊祭の参加、日系人をはじめ現地の人との交流、特に、1900年に現地へ渡った岐阜県出身の故名和喜一郎氏の子孫の方々と帰国日に劇的な面会も行いました。

同協会の皆様は、岐阜を代表して民間大使の役目を十二分に果たされ、主催者であるマリー＝ジョゼ・ミシェル日本名誉領事からも感謝の気持ちが込められた礼状が届いています。

同協会では、今後もニューカレドニアとの交流を深めるとともに、日本人移民のことを知ってもらう機会を創りたいと考えています。

岐阜県医療通訳ボランティア

現在、岐阜県内で医療通訳を常時配置している総合病院は、岐阜県が把握している限りで、大垣市民病院(大垣市)、社会医療法人厚生会木沢記念病院(美濃加茂市)、岐阜社会保険病院(可児市)の3病院しかありません。いずれもポルトガル語の通訳(一部の病院では英語も)を配置しており、外国人患者が集中している状況にあります。

一方で、上記3市以外の外国人集住市からは、「市内の病院から通訳派遣の依頼があるが、対応できていない。広域で対応できる仕組みが必要」といった意見が出されています。

また、(公財)岐阜県国際交流センター(GIC)では、「医療通訳サポーター研修」を実施し、医療通訳者の育成に努めていますが、研修参加者からは、医療通訳ボランティア派遣システムの構築を望む声が上がっています。

そこで、平成23年度以降、県内の医療関係団体、医療機関及びNPO等から成る「岐阜県医療通訳派遣システム検討会議」において検討を重ね、今年度は当システムの実証実験を実施することとしました。

今年度の実証実験の結果を踏まえ、平成25年度以降のシステムのあり方について検討する予定です。

1 医療通訳ボランティア派遣期間(実証実験期間)

平成24年7月30日(月)～平成25年3月31日(日)

2 医療通訳ボランティア派遣先医療機関(平成24年9月30日現在)

岐阜県医療通訳派遣システム検討会議構成団体のうち、下記の医療機関。

- 国立大学法人岐阜大学医学部附属病院(岐阜市)
- 大垣市民病院(大垣市)
- 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター(岐阜市)
- 岐阜県厚生農業協同組合連合会中濃厚生病院(関市)
- 岐阜市民病院(岐阜市)
- 社会医療法人厚生会木沢記念病院(美濃加茂市)

3 派遣する医療通訳ボランティア

本年度GICが実施した医療通訳ボランティア登録試験に合格し、登録をした方。

登録者数 15名(言語別内訳)ポルトガル語7名、中国語6名、タガログ語2名

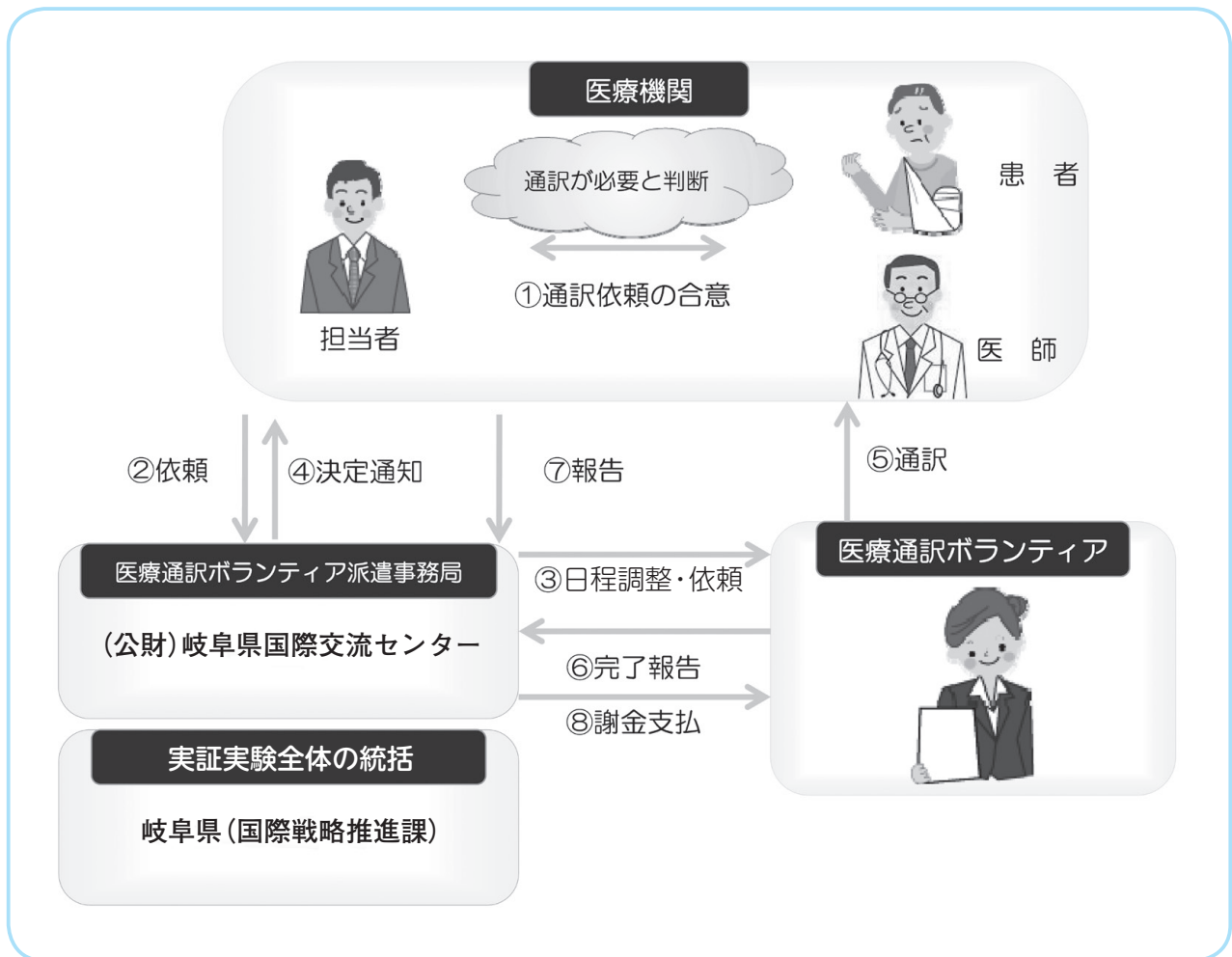
4 医療通訳ボランティア派遣の流れ

- 1 医療機関が医療通訳ボランティア派遣事務局(以下「事務局」。GIC)に、原則として派遣希望日から起算して5日前(事務局の休日は日数に数えませんが)までに医療通訳ボランティア派遣を依頼します。
- 2 事務局は、登録されている医療通訳ボランティアの中から、依頼内容に対応可能な方を派遣します。
- 3 医療通訳ボランティアの方は指定された日時に、依頼のあった医療機関において通訳を行います。1回当たりの通訳時間は、概ね2時間程度です。

派遣システム 実証実験

5 医療通訳ボランティアへの謝金

謝金の額は、1回当たり3,000円(交通費相当額を含む)です。なお、本年度は、事務局が負担しますので、患者及び医療機関の負担はありません。



● 医療通訳者育成事業の実施 –医療通訳の人材育成–

岐阜県では、医療通訳ボランティア派遣システム実証実験と平行して、県内医療機関において医療通訳として活動する意思がある失業者を対象に、職業人としての医療通訳に必要な知識、技術及び倫理の研修を行うOFF-JT(職場外教育)及び医療機関における実習を行うOJT(職場内教育)を組み合わせた人材育成を民間企業等に委託して実施します。

ポルトガル語、中国語又はタガログ語ができる人材を雇用し、研修を行い、このうち、OJTについては、県内の医療機関で実施する予定です。

当事業は、実証実験の取り組みと合わせて、在住外国人が安心して医療を受けられるとともに、医療機関が円滑に診療できる体制の構築を目指しています。

ブラジル岐阜県人会と岐阜県の関わりについて

現在、岐阜県には約1万3千人のブラジル人が居住し、地域社会の活性化に寄与されています。一方、1908年以降、10万人以上の日本人がブラジルに移住し、岐阜県民も1913年に11家族44名がブラジルに始めて渡りました。その後も岐阜県からの移住者が続き、1938年6月にサンパウロ市内に有志15～16名が集い、ブラジル岐阜県人会の前身となる岐阜県人会親睦会が発足しました。

岐阜県からの移住者は、様々な困難を克服しながら、県人会を発展させるとともに、ブラジル社会の発展、及び日本とブラジルの両国の架け橋として大きな役割を果たしてきました。

1960年以降から県人会の手厚い支援、ネットワークにより、岐阜県とブラジルの交流が活発となり、幅広い分野の関係者による相互訪問、市町の姉妹提携、周年記念事業の実施、岐阜県海外移住者子弟の県費留学制度の創設、岐阜県警察官のポルトガル語研修生の派遣、岐阜県農業高校生の海外実習派遣などが実施されてきました。

今回、紹介します県費留学生は、1969年から開始され、63名の岐阜県出身ブラジル移住者の子弟が岐阜県の大学等で勉学に努め、帰国後は、岐阜県との関係強化に活躍されています。

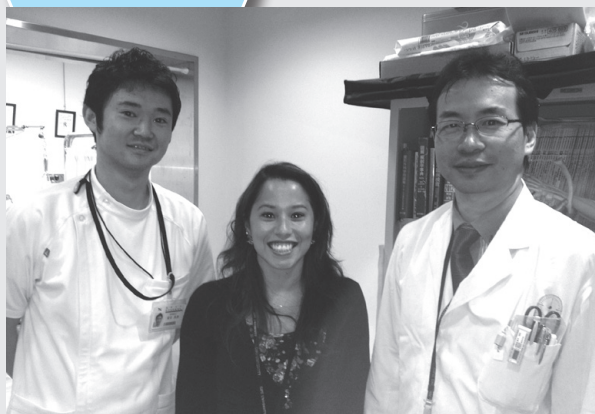
なお、来年2013年は、岐阜県人ブラジル移住100周年と、ブラジル岐阜県人会創立75周年という記念すべき年にあたります。



第34回岐阜県農業高校生海外実習派遣団

ブラジル岐阜県人会 設立：1938年6月 会員数：351家族1,578人(2011年末現在)
<http://www.gifukenjinkai.com.br/>

県費留学生 の紹介



カルデイラさん(中央)と
岐阜大学の先生

平成24年度の岐阜県県費留学生としてカルデイラ大野ルマ喜代子さん(24歳、リオグランデ・ド・スル州出身)を受け入れ、約1年間、本県に滞在します。

カルデイラさんは理学療法士であり、岐阜大学で同分野の研究を行っています。卒業論文に取り組むと同時に、大学病院で手術前・手術後の様々な年齢層の患者や退院後のリハビリテーションが必要とする患者等をみています。

岐阜県出身の親族が可児市と関市に住んでいるため、本県と深い関わりを持っています。ブラジルの大学卒業後、先端技術の国である日本で理学療法を勉強したら良いと父・大野ウゴさんと伯父・大野ミツオさんのアドバイスをきっかけにブラジル岐阜県人会を通じて県費留学生制度に応募しました。

岐阜県については「長良川、鶺鴒、郡上の徹夜おどり等が有名で、地元の日本語の特徴が学べるところ。県民が暖かく受け入れてくれました。」また、帰国後は「日本の経験をブラジルの理学療法に活かし、学習したことを同僚と共有したい」と述べています。

外国人に **伝**えたいこと、**知**ってほしいこと

～ 行政書士による外国人のための無料相談会を始めました! ～

在留資格の変更、日本国籍の取得、外国人雇用、起業の手続き…。

「こんなとき、どこに相談すればいいのだろう」と思ったことはありませんか？

外国人の方々の身近な困りごとについて、国の法律に基づく「行政書士」が、幅広い相談に応じます。秘密は厳守します。お気軽にご利用ください。

日時については相談に応じますので、まずはGICまでお電話ください。

日 時	毎月第3日曜日・第4水曜日の13時～15時 ※事前予約制。事前予約がない場合は開催しません。 ※回答の準備等のため、原則、1週間前までにお申込み下さい。
相談時間	原則、お一人30分
相談内容	在留資格、査証、国籍、国際結婚・離婚、営業許可、交通事故など
通訳対応言語	英語、ポルトガル語、中国語、タガログ語
費用	無料
注意事項	通訳が必要な場合は、予約時にお申し出下さい。 (ただし、対応できない場合もありますので、ご了承ください。)
その他	雇用や国際結婚など外国人に関係のある日本人の相談も可能です。
会場	(公財)岐阜県国際交流センター

他団体でも同様の無料相談会を実施しています。詳細は実施団体に確認をお願いします。

実施団体	連絡先	実施日時	通訳対応言語
(公財)大垣国際交流協会	0584-82-2311	毎月第1日曜日 13時～15時 *要予約	ポルトガル語 中国語 英語 *要予約
(特活)可児市国際交流協会	0574-60-1200	10・12・1・3月 月2回 時間未定 *要予約	ポルトガル語 英語 ビサヤ語 *要予約

～ ころの問題で悩んでいませんか? ～

「職場や家族、周囲との人間関係がうまくいかない」「やる気が出ない」「気分が落ち込む」「不安や不眠が続いている」など、ご自身やご家族のころの問題で悩んでいませんか？

GICでは、ブラジル人専門カウンセラーによるポルトガル語での「ころの相談」を無料で実施しています。10月以降の相談日は次の通りです。

10月5日(金)、28日(日)
11月2日(金)、25日(日)
12月7日(金)、23日(日)

また、ポルトガル語以外の言語(英語・中国語・タガログ語)については、岐阜県精神保健福祉センターと連携して、専門のカウンセラーによる相談を実施しています。最初はGICの外国人支援相談員が対応します。

いずれも事前に予約が必要です。秘密は厳守します。お気軽にGICまでお電話ください。

国際交流員の派遣について

当センターに所属する国際交流員(CIR:Coodinator for International Relations)はJETプログラムによって招致されています。
(現在はブラジル、オーストラリア、中国からの計3名)

地方公共団体・国際交流協会・学校からの依頼により国際交流員を派遣して、国際交流や国際理解活動を支援しています。

(主な派遣内容)

- ・県内小中高等学校における国際理解教育の実施
- ・地方公共団体及び国際交流協会主催の国際理解講演等開催

パワーポイントを使って母国の文化紹介、歌、ゲーム、各国料理教室等依頼元のご要望に可能な限り応じています。

※交通費のみ依頼元負担です。

写真左より サリー・ウォールズ、龔超、森下 アンダーソン 実砂雄



サリー・ウォールズ (オーストラリア)

いろいろな国から移り住んだ人々が同じ土地に住んでいるオーストラリアのことを、岐阜県の皆さんに伝えたいです。県内に在住でいろいろな国とのつながりを持っている人達にも岐阜県の素晴らしさを発見してもらえよう頑張っています。一緒に国際的なコミュニティを作りましょう!

龔 超 (中国)

私は中国江西省の出身です。より多くの人達に岐阜県と江西省が今まで行ってきた多分野での友好提携や交流活動を知っていただきたい、多文化に対する理解、特に中国のことや文化に対する理解を深めていただけるように努力していきたいと思っています。

森下 アンダーソン 実砂雄 (ブラジル)

ブラジルはこれからのオリンピック、ワールドカップ等で世界の注目を浴びています。私の生まれ育ったブラジルは日本からおおよそ2万キロ離れていますが、私は岐阜県民の皆様のお近くにおりますので、ブラジルにご感心のある方々はぜひお気軽にお声をかけていただければと思います。

「もっと知ろうよ、オーストラリア」

(NPO法人美濃加茂国際交流協会主催)

オーストラリアの生活・歴史・文化について紹介。また、サリー自身の留学体験も交えて話をしました。

参加した生徒さん達は、熱心に話を聞いてくださり、美濃加茂市と姉妹都市であるオーストラリア・ダボ市への学生派遣事業(協会事業)にも興味を持って下さいました。大人の参加者にとっても改めて文化の違いと自国の文化を見つめ直す機会となりました。



生涯学習講座「世界の料理」

(七宗町教育委員会主催)

「トマトと卵の中華スープ」を含む4品を調理実習。中国の地方(上海、広東、北京、四川など)による味付けの違い等を紹介。トマトを炒め物として使う、トマトをスープにする等、普段とは違った料理で食材がおいしく中華風が変わることを発見。調理後は参加者の皆さんとの試食を兼ねた楽しい交流会となりました。

英語サークル

当センターにて英語サークルを実施しています。

日常会話程度の英語が出来る方であれば、どなたでも参加できます!

- 開催日 : 原則毎週木曜日
- 時間 : 14:00~15:30
- 料金 : 無料



※当日(木曜日)の9時以降にGICまで電話していただければ席を用意します。

ASFIL岐阜

(アスフィル岐阜)

●概要

ASFILとは(Assist Filipinos=フィリピン人を助ける・手伝う)という意味において、日本在住のフィリピン人の方々が自立し、日本社会に貢献できる多文化共生社会の一員となるよう支援している団体です。

●活動内容

岐阜市やその周辺に住むフィリピン人のため情報提供、通訳、電話相談対応等の支援活動を行っています。

●大阪・神戸フィリピン総領事館出張サービス

基本的に毎年1回、大阪・神戸フィリピン領事館と協力し、パスポート取得・更新、その他の手続き、相談等の出張サービスを岐阜市の会場で行っています。毎年、岐阜県や愛知県各地に

- 設立：2008年
- 会員：7名
- 代表：大野 えりな
- 事務局：岐阜市加野7-6-14
TEL.090-3935-6004
(大野)

住む300名ほどのフィリピン人がこのサービスを利用しています。

●電話による何でも相談

離婚、結婚、在留資格や、大阪・神戸フィリピン領事サービス関連の相談など行っています。

●通訳

通訳料を支払う人が困難な方に無料で通訳をしています。

●ASFIL岐阜からのメッセージ

外国人であろうと、日本人であろう



▲ASFIL岐阜のメンバー

と、日本に住む人は皆日本社会の一員で、「幸せに暮らしたい」という共通の思いをもっています。それを皆で協力していけば実現することが可能です。在日フィリピン人が安心して暮らし、社会に貢献・協力できる一員になるためASFIL岐阜は支援していきたいと思っています。

大阪・神戸フィリピン総領事館出張サービスを今年は10月27日に岐阜市で開催予定ですので、フィリピン人の皆さん是非足を運んでみて下さい。

(※詳しい情報はP8メッセージボードをご覧ください)

JICA

コーナー

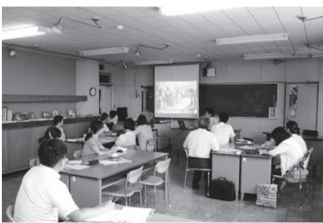
みなさん、こんにちは。JICA岐阜デスクの各務です。山の多い岐阜県はいたるところで木々が色づき、秋の訪れを感じますね。

今回はJICA岐阜デスクの活動報告とJICAボランティア秋募集のお知らせです!!

国際理解教育講座

～実践に学び、実践に生かすために～

8月23日(木)岐阜県総合教育センターにて国際理解教育講座が開催されました。午前中は現職教員としてモロッコへ派遣された青年海外協力隊OBやブラジルへの教師海外研修に参加した先生による講義、午後は(特活)国際理解教育センター・NIEDの講師によるワークショップを通じ、世界の現状や国際理解教育の実践方法を学びました。受講して下さった参加者のみなさん、ありがとうございました!来年度も多数のご参加お待ちしております!!



世界も自分も変えるシゴト!

JICAボランティアに挑戦しませんか?

募集期間：平成24年10月1日～11月5日

対象：20～39歳(青年海外協力隊)
40～69歳(シニア海外ボランティア)

募集に合わせて全国各地で募集説明会を行います。協力隊、シニアボランティアOB・OG活動紹介や、個別応募相談も開催いたしますのでお気軽にご参加下さい!

10月17日(水) 18:30～

会場：ふれあい福寿会館

詳細はHP(<http://www.jica.go.jp>)まで!!

予約不要・無料

～JICAボランティアや国際理解講座など、お気軽にお問合せください～

JICA岐阜デスク 岐阜県国際協力推進員 各務 茉莉(かがみ まり)

tel : 058-263-8069 E-mail: jicadpd-desk-gifuken@jica.go.jp

メッセージボード Message board

このコーナーでは、県内の国際活動団体のイベント・講座などをお知らせします。掲載をご希望の方はGICまでご連絡ください。

岐阜県国際交流センターの催し

国際交流文化サロン 「知られざる国・オマーン」

元在オマーン日本国大使館書記官とオマーンでファッションショーを実施した大垣市出身のデザイナーがオマーンを紹介します。

- とき 11月11日(日)
14:00~15:30
- ところ 大垣市スイトピアセンター
- 定員 申込先着30名
- 参加費 無料
- 問合せ先 (公財)岐阜県国際交流センター

大阪・神戸フィリピン 総領事館出張サービス

パスポート取得、更新、その他の手続きの出張サービスを行います。
地震などの防災対策関連のビデオ上映会も行う予定です。

- とき 10月27日(土) 9:00~17:00
- ところ 長良川国際会議場(岐阜市)
- 対象 在住フィリピン人
- 参加費 無料
- 問合せ先 ASFIL岐阜
TEL: 090-3935-6004 (大野)
[PHILCONGEN OSAKA]
http://www.osakapcg.com/

第12回岐阜県内外国人留学生 日本語弁論大会

県内に在学する外国人留学生が「日本の社会について」日本語でスピーチを行います。

- とき 10月27日(土) 13:00~18:00
- ところ 岐阜経済大学(大垣市)
- 対象 どなたでも傍聴可能
- 参加費 無料
- 問合せ先 岐阜地域留学生交流推進協議会
TEL: 058-293-3350

「かえるプロジェクト」報告会

サンパウロで行われている帰国後の支援活動「かえるプロジェクト」
ブラジル帰国後の子どもたちの現状と取組の報告と個別相談会を開催します。軽食を食べながらの交流会もあります。

- とき 11月1日(木)
17:00~19:00 心理学医師による個人相談会
19:00~21:00 ブラジル帰国後の支援について
- ところ 可児市多文化共生センターフレビア
- 参加費 無料
- 問合せ先 (特活)可児市国際交流協会
TEL: 0574-60-1230
(ポルトガル語、英語、タガログ語で対応可)
http://www.ck.ne.jp/frevia/
※すべてポルトガル語で行われます。

フレビアまるごとブラジルデー フレビア全館を使い、ブラジル文化の紹介と交流

日系人の写真展、ダンス、音楽、雑貨手芸品、ブラジル屋台販売などを行います。

- とき 11月3日(土) 10:00~16:00
- ところ 可児市多文化共生センターフレビア
- 問合せ先 上記の通り
※フレビアへの入場は無料
※屋台等の販売あり

ブラジルダンス講座

ブラジルのお祭り「フェスタ・ジュニーナ(6月祭)」で踊る楽しいフォークダンス「ワドリリー」を覚えませんか。

- とき 11月2日~30日 毎週金曜日 全5回
※23日(金・祝)は休講し、22日(木)に行います。
19:00~21:00
- ところ 関市役所
- 定員 20名(申込順)
- 対象 日本人の方、外国人の方どなたでも大歓迎です。
- 参加費 無料
- 問合せ先 関市国際交流協会
TEL: 0575-23-6806
http://www.city.seki.gifu.jp/cosmopia/

金箔貼り体験と座禅・お茶会

岐阜の文化を仏教の観点から学びませんか。
お寺へのお参りの仕方を学び、座禅とお茶会で日本の文化を楽しみましょう。
仏壇の主要技術である金箔貼りの体験も行います。

- とき 11月4日(日) 13:00~16:00
- ところ 藤井佛壇(岐阜市末広町89)
- 定員 20名(申込順)
- 参加費 2,000円(おみやげ、お茶、和菓子付)
- 問合せ先 長良川おんぱく公式webサイト
http://nagaragawa.onpaku.asia/
TEL: 090-6615-5018 (Matsueda)
※英語で行われます

和菓子作り体験

3種類の和菓子作りに挑戦しませんか。お茶会も開催します。
日本の伝統的な和菓子についてその歴史と文化も学べます。

- とき 11月16日(金) 14:00~15:30
- ところ おきなや総本舗(岐阜市美殿町38)
- 定員 8名(申込順)
- 参加費 2,000円
- 問合せ先 長良川おんぱく公式webサイト
http://nagaragawa.onpaku.asia/
おきなや総本舗
TEL: 058-262-0988
※英語で行われます

フランス料理教室

フランスの特別なチーズと赤ワインを使ったフランス料理を作りませんか。

- とき 11月17日(土) 10:00~13:30
- ところ 市橋コミュニティセンター(岐阜市)
- 定員 25名(申込順)
- 参加費 3,000円程度
- 講師 ティボ・ムリス(国際交流員・フランス)
- 問合せ先 岐阜日仏協会
TEL: 058-235-7253
※日程、参加費など変更することがあります。

弁護士による無料法律相談会

- とき 11月24日(土)
10:00~15:00
- ところ 可児市多文化共生センターフレビア
- 参加費 無料
- 申込み 事前予約が必要 通訳付
(対応できない言語あり)
- 問合せ先 (特活)可児市国際交流協会
TEL: 0574-60-1230
(ポルトガル語、英語、タガログ語で対応可)
http://www.ck.ne.jp/frevia/index.html

講座：日本の正月を楽しむ

ゆったりとした気持ちで書き初めをして、心ゆたかに新年を祝いましょう。

- とき 1月5日(土)
10:30~12:00
- ところ 東海学院大学短期大学部(各務原市)
- 定員 なし
(当日でも参加できますが、ご予約ください)
- 参加費 無料
- 問合せ先 東海学院大学短期大学部生涯学習センター
TEL: 058-382-1148(代)
http://college.tokaigakuin-u.ac.jp/

講座：日本の節分を楽しむ

鬼のおめんを作って、豆まきを体験してみましょう。鬼を追い払い、1年の健康を祈りましょう。

- とき 1月26日(土)
10:30~12:00
- ところ 東海学院大学短期大学部(各務原市)
- 定員 なし
(当日でも参加できますが、ご予約ください)
- 参加費 無料
- 問合せ先 東海学院大学短期大学部生涯学習センター
※連絡先は上記のとおり

ロシア近辺諸国の歴史と各国事情のお話

元サンクトペテルブルク総領事、元大学教授玉木功一先生をお迎えして、近くて遠い国旧ソ連諸国の事情、歴史のお話をさせていただきます。

- とき 毎月 第2、4日曜日(変更もあり)
13:30~15:00
- ところ 岐阜県国際交流センター
- 参加費 月に1,000円程度
- 問合せ先 岐阜ロシア文化サロン
TEL: 090-1789-3226
http://happy.ap.teacup.com/applet/gifurusiansalon/msgcate2/archive

ロシア語中級講座(経験者対象)

ロシア人講師による中級ロシア語講座を行います。

- とき 毎月 第2、4日曜日(変更もあり)
15:30~17:00
- ところ 岐阜県国際交流センター
- 参加費 1回1,000円
- 問合せ先 岐阜ロシア文化サロン
※連絡先は上記のとおり
※2つとも見学者、大歓迎。

発行

公益財団法人岐阜県国際交流センター(略称GIC)

〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通1-12 岐阜中日ビル2階

電話 058-214-7700 FAX 058-263-8067 トリオフォン 058-263-8066

E-mail gic@gic.or.jp URL http://www.gic.or.jp

開館案内 開館 日~金曜日 9:30~18:00 休館 土曜日、祝日、年末年始

